

事業概要	<ul style="list-style-type: none"><li>● 設 立: 2014年6月</li><li>● 業 種: キャンプ場の運営</li><li>● 店舗立地: 埼玉県飯能市上名栗にて下記のキャンプ場を運営<ul style="list-style-type: none"><li>①ケニーズ・ファミリー・ビレッジ/オートキャンプ場</li><li>②古民家ファミリービレッジ キャンプ/バーベキュー場</li></ul></li><li>● 従業員: 15人</li><li>● 収容人数: 500人(2店舗計)</li><li>● 営業概要</li></ul> <p>飯能市上名栗にてキャンプ場を2店舗運営。いずれの店舗も場内には名栗川が流れ、川を起点とした豊かな自然環境と触れ合うことが出来る。</p> <p>キャンプ場は初心者ファミリー層を主要な顧客とし、安全・清潔であることを第一に、またマス釣り場や遊びの広場など「体験と成長」をテーマとした施設づくりやイベントを行う。</p> <p>キャンプ場は日本オートキャンプ協会に所属し、業界の動向や最新の事例に基づき常にレベルアップに取り組み、協会公認のキャンプインストラクターも6名が在籍、自身もキャンパーである人材を揃えている。</p>
部署	キャンプ事業部
所在地	〒357-0111 埼玉県飯能市上名栗3193-1
連絡先	(電話番号)042-979-0300 (E-mail)taito-k@kfv.co.jp
環境省ローカルSDGsを通じて、実現したい社会像	<p>私どもが事業を営む埼玉県飯能市は、県内3番目という広大な面積に約75%を森林が占め、入間川、高麗川の一級河川が西部山地から東部台地へと流下している。都心から約50km、交通アクセスも良好な環境にありながら、緑と清流に恵まれた飯能市は古くから林業や織物産業が育まれてきた。数年前、消滅可能性都市として指摘された飯能市は、特に林業が後退した中山間地域において過疎化と人口減少が進み、生活インフラである路線バスも廃線の可能性が示唆されている。私たちの暮らしと共に、荒廃した山と水辺環境の保全も地域の課題となっている。</p> <p>そのような環境下に於いてキャンプ場を営む私たちは、都市部からの多くキャンプ客を受入れることで地域の活性化と生きがいを感じる職場雇用の創出を図っていく。また都市部からの利用者は里山の自然環境や河川で野遊びをすることによって、水と山の大切さ・生命・環境問題など豊かな感受性を育む事が出来ると考えている。</p> <p>野遊びを通じて豊かな感受性をもった人材は、今後の社会経済的な仕組み創りに欠いてはならず、地方と都市を隔てることなく相互に補完しながらネットワークの構築が実現できると考えている。</p>

ローカルSDGsの実現に貢献できるソリューション	分野	観光ビジネス
	<b>環境基金への拠出</b> 入場者1名につき1円を、EVI(Eco Value Interchange)というプラットフォームを通し森林を守る活動に拠出、CO <sub>2</sub> をカーボン・オフセットし低炭素社会の実現を目指している。弊社が運営する施設でキャンプをすることが、日本の森を豊かにするという実際の行為に繋げることが出来る。  <b>水生生物観察会</b> キャンプ場内を流れる一級河川には、清流にしか生息できない絶滅危惧種を含む「溪流群衆」という水生生物の生態系があり、年に数回、観察会のイベントを行っている。参加者は水生生物を捕まえ水槽で観察し、その際に生き物博士(スタッフ)による生解説も行う(もちろん、つかまえた生物は自然の中に還す)。観察会は家族全員で参加することが出来、水辺環境の大切さ・涵養としての森林の機能・生き物の多様性に気づき、自然を想う気持ちを育むことが出来る。  <b>ホテルのビオトープ</b> みどりの埼玉づくり県民提案事業補助金によって、施設内にホテルのビオトープを造成し、ホテルが生息・繁殖可能な環境を作っている。またキャンプ場利用者に向けて「ホテルのかみしばい」イベントを行い、ホテルを通した環境学習を行っている。  <b>間伐材の利用促進</b> 地元の間伐材を利用した薪を積極的に販売し、里山の環境づくりに取り組んでいる。  <b>ゴミの削減</b> ゴミを減らすことで、ゴミを燃やす際に出る温室効果ガスを減らすことができるが、当施設は2022年までに10%のゴミ削減目標を掲げている。極力ゴミを出さないようお客様へ啓蒙活動を行うとともに、ごみ分別徹底の協力をお願いしている。	
上記ソリューションを提供できる地域について	URL	<a href="https://www.kfv.co.jp/kennys/csr/">https://www.kfv.co.jp/kennys/csr/</a>
		埼玉県飯能市

## 自者の特徴

## 【外部環境】

- オートキャンプ参加人口は毎年1～2%増と市場の伸びは堅調(2018年度実績850万人)
- 首都圏から約80～100kmとアクセス良好、飯能市は「近場の秘境」としてのポテンシャルがある
- 両店舗とも入間川の源流域にあたる名栗川沿いにあり、清流の水辺空間を求め多くの観光客が来訪する

## 【内部環境】

- 売上高:1億600万円(2019年度)。売上伸長率は毎年約105%程度。直近2年は昨年対比で115%を計上する。
- 雇用:売上伸長に伴い創業から現在までに社員3名、アルバイト10名を増員
- 年間来場者数:約4万人
- 稼働率:49.7% ※業界平均値は16.6%
- 受賞歴:こどもとお出かけ人気ランキング関東キャンプ場部門1位(2014年)  
なっふAWARD東日本-予約件数4位、アクセス部門5位(2019年)
- 日本オートキャンプ協会公認インストラクターが6名在籍している
- 豊富なイベントを実施している(年間20～40本)
- 飯能市一のレンタル品を取揃えている
- 地元野菜や食肉販売、地域焙煎のコーヒーなどを提供している
- 会員制度やキャンセル振替割引制度を実施し、リピーターの創出を図っている
- メーカーや販社などと業務提携し、キャンプ業界の活性化を図っている  
スノーピーク(株)、コールマンジャパン(株)、(株)ロゴスコポーレーション、(株)ヴィクトリア、(株)カンセキ、埼玉トヨペット(株)、  
(株)トヨタレンタリース、トヨタファイナンス(株)、(株)日産フィナンシャルサービス、JAF、パーク24(株)、(株)実業之日本社、  
(株)スタジオジャパホ、(株)日本ハム、(株)ベルクなど
- 気候変動に対し、取組み(参画)をしている
  - COOL CHOICEとFun to Share(環境省)、Eco Value Interchange(EVI推進協議会)に参画
  - 以下の取組みをホームページで宣言し、お客さまと一緒に持続可能な環境活動を実施している  
山林保全・河川清掃・節水(電)・ビオトープ造成・環境教育(水生生物観察会・ホテル観賞会)・ゴミの減量
- 各種団体に所属し、業界や地域の発展に寄与している。
  - キャンプ関係…日本オートキャンプ協会、名栗川キャンプ・バーベキュー場連合会(当社が事務局を運営)
  - 観光団体…飯能市観光協会、名栗観光の会、名栗活性化検討会、
  - 他…まちづくり推進委員会、名栗川の自然を考える会、埼玉ニュービジネス協議会、なぐり紅葉まつり実行委員会  
(毎年まつり会場としてキャンプ場を開放)、名栗ふるさとまつり協賛会、飯能市鳥獣害対策協議会、名栗湖野外美術展実行委員会

自者の特徴	<ul style="list-style-type: none"><li>● 各種団体に参画し、安全社会の実現に寄与している 観光庁(POSITIVE OFF)、経済産業省(PREMIUM FRIDAY)、埼玉県県警(シルバーサポーター制度)、埼玉県庁統計課(埼玉県民手帳)、埼玉県福祉部少子政策課(パパママ応援ショップ)、埼玉県消防協会飯能地区、埼玉県おもてなし力向上実行委員会、飯能市賑わい創出課(ふるさと納税返礼品)、東京都青少年・治安対策本部(自転車安全利用宣言)、名栗地区青少年健全育成の会、暴力排除推進協議会、飯能警察防犯協力会</li></ul> <p>【経営方針】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 経営理念: 私たちは、人と自然の架け橋となるプロ集団である</li><li>● 行動指針: 公益性、収益性、共有、おもてなし、感謝</li></ul>
SDGs経営に向けた自者の課題や悩み	—